

DM シンポニュース

2013. 9. 5 | 第 1 号

ごあいさつ

このたび「第 33 回全日本民医連糖尿病シンポジウム in 富山」の実行委員長を務めることになりました、松井法生（のりお）です。医師になって 24 年、糖尿病診療を中心に医療活動を行なってきました。「全日本民医連糖尿病シンポジウム」は、毎回参加し、多くのことを学び、多くの友人を得て、自らの成長の一助になってきたと思います。

さて、以前から、「全日本民医連糖尿病シンポジウム」を富山でという声がありましたが、この間、今回副実行委員長を務める田村医師をはじめ、糖尿病スタッフが成長し、今回、満を持して富山で開催することになりました。

日時は 2014 年 7 月 4 日(金)・5 日(土)です。

テーマは『チーム医療～チームでささえる糖尿病のある人生～』としました。

富山協立病院では、糖尿病担当医 2 名、糖尿病療養指導士 5 名を中心にチームでの診療力アップに取り組んでいるところです。「ささえる」という意味は、「常に一方的な援助を続ける」ということだけではなく「患者さんが自己管理できるように援助する」「家族・とりまく環境をしっかりサポートする」という意味です。私たちは糖尿病という病気だけを診ているわけではありません。社会的な背景や精神状態を含めて、ひとりひとりの人間、ひとつひとつの人生に、関わらざるを得ません。それがやりがいでもあります。

記念講演には、「糖尿病劇場」などで有名な国立がんセンター病院、大橋健先生に決まりました。糖尿病療養指導のワンシーンを再現した、観劇型講演を予定しています。

会場は「富山国際会議場」という、立派な会場を使用します。皆さんの協力で、会場にふさわしい内容に盛り上げていきたいと思っております。

富山県には「世界遺産の五箇山合掌造り集落」「立山黒部アルペンルート」、哀愁を帯びた胡弓の音に合わせて踊る「おわら風の盆」など観光や文化の面で誇れるものが多くあります。「ます寿司」「白エビ」など豊富な海の幸、山の幸もご堪能ください。

「富山で学ぼう」を合言葉に、全国から多くの方が参加されることを願っています



▲会場：国際会議場と路面電車セントラム



「富山に^こ来られえ、待^まっとっちゃ」

(富山に来てね、待ってるよ)

●事務局●

富山医療生活協同組合 富山協立病院

〒931-8501 富山県富山市豊田町 1-1-8

TEL:(076) 433-1077 (代)

FAX:(076) 444-5724

実行委員会事務局: 栄養科 浅井雅子